



Beyond KUSS, 2022 !!



大学入学共通テスト模試6月(マーク)模試 自己採点集計結果

先週末に実施した模擬試験の自己採点集計結果を紹介します。

データ省略

7回生も同時期に模擬試験を受験しています。右のグラフは、その結果と共通テストの自己採点結果の相関を示しています。模試と共通テストの関係は次のように言えます。

模試 720 程度 ⇒ 共通テスト 810 程度

模試 630 程度 ⇒ 共通テスト 720 程度

模試 540 程度 ⇒ 共通テスト 600 程度

模試 450 程度 ⇒ 共通テスト 500 程度

今回の模擬試験、そして来週からの中間考査、これらのテストは夏季休業中にみなさんが取り組むべき課題を示してくれます。その課題に気づき、解決のために取り組んでいく人は、基礎・基本が定着・強固なものとなります。残念ながら、課題に気づかない人は、

データ省略

共通テスト模試は自己採点できます。自己採点は、自分の現状を知るために行います。現状を理解し、次への準備を行います。問題冊子に解答を控える際、根拠をもち自信を持って解答したら「◎」、根拠を示すことはできないが自信のある解答は「○」、複数候補で悩んだ解答は「△」、とりあえず解答したら「□」のように区別します。どの記号でどれだけ得点できたか確認しましょう。「◎」は「理解正解」、「○」「△」は「不安正解」、「□」は「偶然正解」。「不安正解」の問題・分野を「理解正解」にすることが重要です。「偶然正解」は不得意・苦手分野。改善が必要です。

時間と費用をいくらかけても実力上昇度合いは低いです。そのことを7回生のグラフは示しています。模試実施前に以下の内容を紹介しています。課題に気づく参考にしてください。

今回の模擬試験、解答科目のトラブル、組・番号や解答科目・志望校のマークのトラブルなど、手続上のトラブルがあちこちで発生しています。また二次トラブルとして、グーグルフォームへの入力でもトラブルが発生しています。手続上のトラブルは発生を防ぐことが可能です。いくら実力があっても、手続上のトラブルが発生すると、すべてがゼロになる可能性もあります。日頃から、十分に気をつけましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきたいよう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いいたします。

第2回進路希望調査集計結果

前回の調査から2か月弱、微妙に変化があります。「第1志望」を維持する力は「志望力」です。高い「志望力」を持続するためには、基礎・基本の徹底が必要です。基礎・基本が不十分である人は、「志望力」維持が困難です。自分に自信をもてなくなり、「第1志望」が混乱してしまいます。

基礎・基本の強化のために十分な時間を使うことができるのは、夏季休業です。受験産業の夏期講習を利用する人もいるでしょうが、自分に役立つ受講かどうかを、確認してください。夏季休業期間、莫大な時間と費用の無駄遣いをしてしまうと、秋の飛躍は期待できません。

「受験学力」に合わせて「第1志望」を変化させるのではなく、「第1志望」を突破できる「受験学力」を定着させましょう。

データ省略